

科目名称：	経営学入門	
担当者名：	井上 克洋	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	演習	1
授業の目的・テーマ		
本講義は、将来社会人として活躍していく皆さんに、会社及び会社経営の基本的な仕組みやその考え方を理解してもらうことを目指しています。入門であるために専門的な内容には立ち入りませんが、新聞やテレビ報道で話題になっている現実の経営に関するニュースに出来る限り触れながら、就職活動においても役立つ講義をすすめていきます。		
授業の達成目標・到達目標		
①ビジネスに関する基本的な用語と仕組みを理解すること、②新聞やテレビのビジネスニュースの背景や内容が理解できるようになること、③企業人が話題とするようなビジネストピックスについて意見交換が出来るようになること。		

ビジネス実務学科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP (1)	建学の精神と設立の理念を基に、ビジネス社会で求められる基礎知識を修め、地域社会を理解するとともに多様な文化に対応できる幅広い教養が身につけている。	○
DP (2)	医療事務や観光業を含むビジネスの専門知識や技能を身につけ、各種資格を取得し、ビジネスワーカーとして他者と協調・協働することのできる実践力を身につけている。	
DP (3)	多様なビジネス社会に対応できるよう豊かな人間性を養い、人との関わりの中で自己の考えを的確に表現するとともに、他者の意見を尊重し良好な信頼関係を築いていくことができる。	
DP (4)	学生一人ひとりが、ゼミナールを通して、ビジネス現場における様々な課題に取り組み解決する学修経験を積み重ねることで、その場の状況に応じた活用力を身につけている。	

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
ビジネスDP (1)		90		10	100
ビジネスDP (2)					0
ビジネスDP (3)					0
ビジネスDP (4)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の实務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
なし	《内容1》	《経験年数1》
	《内容2》	《経験年数2》
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
経営の知識	講義で説明された基本的な経営用語を完全に理解している	講義で説明された基本的な経営用語を凡そ理解している	講義で説明された基本的な経営用語についてヒントを与えれば理解できる	講義で説明された基本的な経営用語についてヒントを与えても理解できない
経営学的思考	経営学的視点から社会の諸現象を説明できる	経営学的視点から社会の諸現象を凡そ説明できる	経営学的視点から社会の諸現象を説明された際、その内容を理解できる	経営学的視点から社会の諸現象を説明されても、その内容を理解できない

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1回 会社とは何か～会社と我々の生活	身近な会社、自分が就職したい会社について下調べをしてくる。	40分
第2回 株式会社とは何か～会社の種類	前回調べてきた会社が、会社法上どのように区分されているのか調べてくる。	40分
第3回 株式会社の誕生～株式会社成立史	東インド会社について、高校の世界史の教科書等を参考に予習してくる。	40分
第4回 株式会社の仕組み	会社法で定められた株式会社について、講義のレジュメをもとに自分でまとめる。	40分
第5回 会社の一生	有名な会社や身近な会社で、近年倒産した会社を調べてくる。	40分
第6回 小テスト	過去5回の講義を復習してくる。	40分
第7回 経営学とは何か・ディスカッション	経営学という言葉について調べてくる。	40分
第8回 イノベーション論	イノベーションという言葉について調べてくる	40分
第9回 マーケティング論	マーケティングという言葉について調べてくる。	40分
第10回 事業システム論	事業システムという言葉について調べてくる。	40分
第11回 小テスト	過去4回の講義を復習してくる。	40分
第12回 経営戦略論	経営戦略という言葉について調べてくる。	40分
第13回 組織行動論・経営組織論	組織論という言葉について調べてくる。	40分
第14回 知っておきたい経営理論・ディスカッション	これまで講義で語られた事柄について、ディスカッションできるようまとめてくる。	40分
第15回 小テスト及びまとめ	過去3回の講義を復習してくる。	40分
<p>事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め短期大学設置基準で規定された学修時間が必要である。 また、事前事後学修としては、次回までの課題プリント(小レポート)をまとめることになる。</p>		
成績評価の方法・基準 <p>定期試験は、実施しない。 その他の評価配分は、以下のとおりである。 30%の小テストを3回実施、残りの10%は各学生の講義への関与度合で採点する。</p>		
課題に対するフィードバック <p>小テストに関しては、テスト後に記載すべきだった重要なポイントを解説し、加えて模範解答を示して対応する。</p>		
教科書・参考書 <p>教科書『経営学の本』中川功一著、翔泳社、2019年と、必要に応じて講義レジュメを配布する。</p>		